

題名 広島で起こったことの悲惨さと平和への第一歩

鹿沼市立北中学校 (氏名) 渡邊 颯希



私が今回の広島平和記念式典派遣事業で特に印象に残っているのは広島平和記念資料館です。資料館内には原子爆弾の影響で火傷をした死の斑点ができた人々の写真、当時の様子を表した残酷な絵、ボロボロの服、破壊された建物の一部、そして、原子爆弾が落下する動画などが展示されていました。

ここでは戦争の悲惨さと命の尊さを学びました。そして、私の胸に残しておかなければならない大事なことだと伝えてくれているような気がしました。

また、式典に参加して黙とうや平和宣言を実際に聞いたり、体験したりしました。すると、本当にこの平和な日本で戦争が行われていたのか・平和は当たり前ではないのだと実感しました。

私はこの派遣事業で学んだことを自分の言葉で周囲の人に伝え、戦争のない平和の大切さを知ってもらいたいです。